
春、屋根の上で/ナルシカ

深海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春、屋根の上で／ナルシカ

【Zコード】

N6771A

【作者名】

深海

【あらすじ】

時季外れですいません……（・・・；

「なあ、シカマル…平和だなあ…」

「んー…」

気の抜けた声でシカマルを見上げるナルト。シカマルも同じく気の抜けた声で返す。

シカマルの家の屋根に登り、後ろ手をついて空を見上げるシカマルの膝の上に頭を乗せ寝転がるナルト。

ほんのりと温かい風が一人を撫で、春先の優しい陽射しが一人を包む。

「シカマル…平和だし、ちゅーしようぜ?」

「んー…はあ?」

ぼんやりとしていたため、生返事をするシカマル。遅れてナルトの言葉を理解しそうとんきような声を上げて見ると、悪戯な笑みを浮かべるナルトと田中が会つ。

「へへ……じゅ、早速

起き上がりシカマルに顔を近づけていくナルト。

「おこひ、今のせがせんと聞こえてなくて……んつ……ちゅつ、ナルト…」

抵抗するシカマルの手を押されて口付け。それでも足りず口唇根にシカマルを押し倒す。

「聞いてなくても返事したんだから、さあーあるひござよ」

「もーしだら……離せつづーの」

不機嫌そうに眉間に皺を寄せたシカマルの柔らかい唇に、再びナルトの唇が触れる。

「一回じゅくじゆないつじよ

「…つたく

ナルトの押しに負け、田を瞑るシカマル。その上にナルトの影が重なっていく。

「コラーッ！ そんなとこでイチャついてんじやないわよー！」

誰かの叫び声に一人とも田を見開き慌てて離れ、下を見るところとサクラがニヤニヤと笑いながら屋根を見上げていた。

「なつ…！ いつからいたんだってばよー！」

「一回じゅりひとこりへんからかしら…ねえー！」

田配せをしてキャアキャアと笑い合つとのとサクラ。

黙つて見てるなんて酷いと騒ぐナルトをよそに、シカマルはわからぬ程に頬を染めて溜め息をついた。

f
i
n

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6771a/>

春、屋根の上で/ナルシカ

2010年10月14日02時22分発行